



川島町マスコットキャラクター  
かわみん かわべえ

# 川島町立小学校規模適正化計画 (案)

平成 2 8 年 1 月

川島町教育委員会

# 目次

はじめに	1
第1 小学校の現状	2
第2 児童数・学級数の推移と見込み	9
第3 川島町立小学校規模適正化基本方針	12
I 基本方針の趣旨、経緯	12
II 学校規模の適正化の必要性及び適正規模の基準	12
1 学校規模の適正化の必要性	12
2 川島町における小学校の適正規模の基準	12
III 学校規模の適正化の対象校及び推進の方策	13
1 学校規模の適正化の対象校	13
2 学校規模適正化の推進方策	13
IV 学校規模の適正化に伴う教育環境の整備	13
1 通学路の安全確保	13
2 学校の施設設備の整備	14
3 教員等の配置	14
V 学校の統合による跡地・施設利用の基本的な考え方	14
VI 学校の統合に向けた具体的な進め方	14
第4 統合小学校の設置場所の決定	16
第5 川島町立小学校規模適正化計画（案）	24
I 趣旨	24
II 適正規模の基準	24
III 学校規模適正化の対象校と推進方策	24
IV 統合小学校の開校時期	24
V 小中一貫教育の推進	24
VI 適正化に伴う教育環境整備	27
1 通学路の安全確保について	27
2 学校の施設設備の整備について	30
3 教員等の配置について	30
4 学校の統合による跡地・施設利用について	30
5 統合に向けた事前の交流について	31
第6 小学校の統合に向けた具体的な進め方	32
参考資料1) 川島町立小学校規模適正化基本方針説明会の実施状況ならびに主な質問・ 回答	34
参考資料2) 川島町立小学校規模適正化に関するアンケート概要、結果	41
参考資料3) 川島町立小学校規模適正化に関するアンケートの分析	48
参考資料4) 川島町立小学校規模適正化基本方針（修正案）に関する説明会の実施状況 ならびに主な質問・回答	51

## はじめに

第5次川島町総合振興計画では、将来を見据えしっかりとした教育を通じて、子どもたちの個性を伸ばし、社会に向けた必要な能力・資質や、町へのさらなる愛着を持つ子どもを育てることを目標に、最適な教育環境に向けて、きめ細かい指導を実現する教育の体制の整備とともに、地域意見を十分に聞きながら学校規模の適正化を推進することとしています。

小学校時代は、児童が、集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていく機会が必要とされる時期ですが、本町では、昭和60年代以降、子どもの数が減少しており、特に、三保谷、出丸、八ッ保、小見野地区の4つの小学校は、1学年のクラス数はすべて1クラスで、児童数が1ケタのクラスも見られます。また、男女間の数にアンバランスが生じており、中には男子のみ5人のクラスも存在する状況にあります。

このような小規模校化した学校が、子どもたちにとって学習や社会性など身に付ける場として望ましい教育環境なのかという観点に立ち、平成23年度に有識者へ意見聴取したのを始めに、平成24年度に川島町学校規模適正化研究会で、小規模校のメリット・デメリットについて研究していただき、平成25年度から26年度にかけて川島町学校規模適正化検討委員会で、学校規模適正化にかかる基本方針を検討していただきました。そして、検討委員会による検討結果を受け、川島町教育委員会では、平成26年11月に「川島町立小学校規模適正化基本方針」を定めました。

平成27年5月から7月にかけて「川島町立小学校規模適正化基本方針」に関する説明会と、「川島町立小学校規模適正化に関するアンケート」を実施し、説明会での意見等やアンケート結果を踏まえ、議論、検討を重ねた結果、平成27年10月に、「川島町立小学校規模適正化基本方針（修正案）」を作成しました。

さらに、「川島町立小学校規模適正化基本方針（修正案）」に関して、平成27年11月から12月にかけて、再度、説明会を実施し、説明会での意見等を踏まえ、具体的な統合校の設置場所や統廃合の進め方等について、議論、検討を積み重ね、平成28年1月に「川島町立小学校規模適正化基本方針（修正版）」を決定したうえで、「川島町立小学校規模適正化計画（案）」を作成したものです。

そこで、今回、「川島町立小学校規模適正化計画（案）」について説明したうえで、「川島町立小学校規模適正化計画」を策定し、統合小学校の開校目標である平成30年4月に向け、準備を始めたいと考えています。

さて、この計画（案）の骨子は、今後予想される複式学級の編制や、現状の男女間の数のアンバランスといった、小規模校化した4つの小学校の課題を解決するため、早急に教育環境の改善を図るべく、段階的に2校に統合するというものであり、併せて、子どもたちのさらなる学力、社会性の向上を図る観点から、統合後に、既存の中学校と連携、交流を深めることによって、小中一貫教育を推進するというものです。

そして、将来にわたる児童数の推移を見極めながら、さらなる小学校の統合や中学校と一体となった施設一体型の小中一貫校の整備も検討していくものであり、生徒数の減少も鑑みて、中学校の規模についても検討していくものであります。

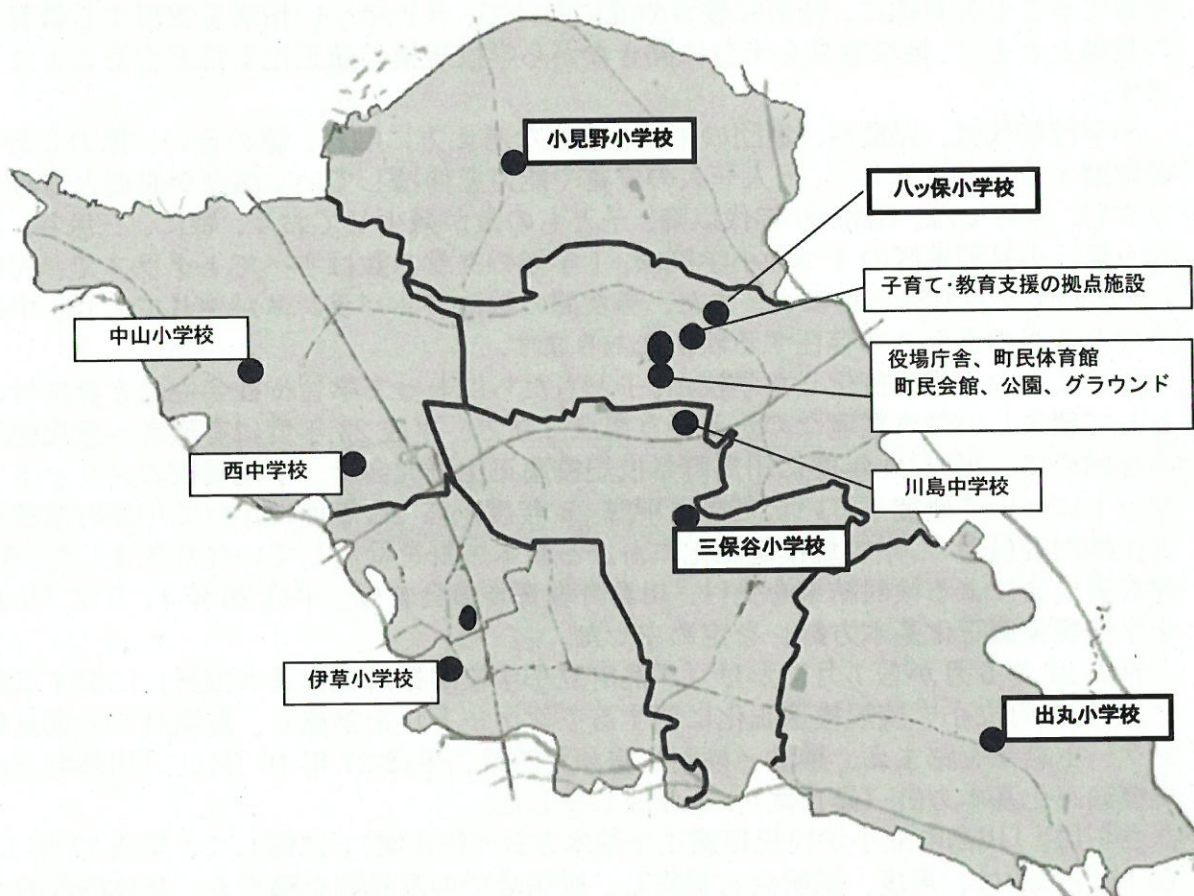
関係者の皆様には、今後も本町の学校教育の充実に向けて積極的な支援を賜るよう、お願いするものです。

川島町教育委員会



## 第1 小学校の現状

### 川島町立小学校通学区域と各学校等の位置



川島町は、昭和29年11月に、中山村、伊草村、三保谷村、出丸村、八ッ保村、小見野村の6カ村が合併して川島村となり、昭和47年11月3日に町制が施行され今日に至ります。これら旧6カ村は、いずれも明治22年4月1日に明治政府による町村制施行によりできたものです。

また、小学校については合併前の旧村単位毎に1ずつ6校が設置されており、現在に至っております。いずれも明治初期に設立した長い歴史を持つ、地域に深く根差した学校です。

中山小学校と伊草小学校は、町の西側に位置します。この地区はその大部分が市街化区域に当たり比較的人口が多いゆえ、児童数が多い学校です。一方、三保谷小学校、出丸小学校、八ッ保小学校、小見野小学校は、町の中心から東側に向け広範囲に点在します。この地域は市街化調整区域に当たり、中山・伊草地区と比較し人口が少ないため、児童数も少ない学校です。

## 中山小学校の現況と配置（川島町大字中山 1333）

### ■ 沿革

明治 6年	9月	開校
昭和 40年	7月	プール竣工
昭和 54年	3月	校舎・体育館新築（鉄筋化）
昭和 58年	2月	校舎増築
平成 3年	4月	南校舎新築
平成 11年 10月		校舎・体育館 耐震補強、大規模改造
平成 22年	2月	デジタルテレビ、太陽光発電設備設置
平成 23年	9月	エアコン設置（普通教室）
平成 25年	9月	体育館 非構造部材耐震化
平成 26年	9月	校舎 非構造部材耐震化

### ■ 保有教室数（既存校舎）

普通 教室	特別教室									合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	特別活動	相談	
13	1	1	2	1	1	1	2	6	1	29

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

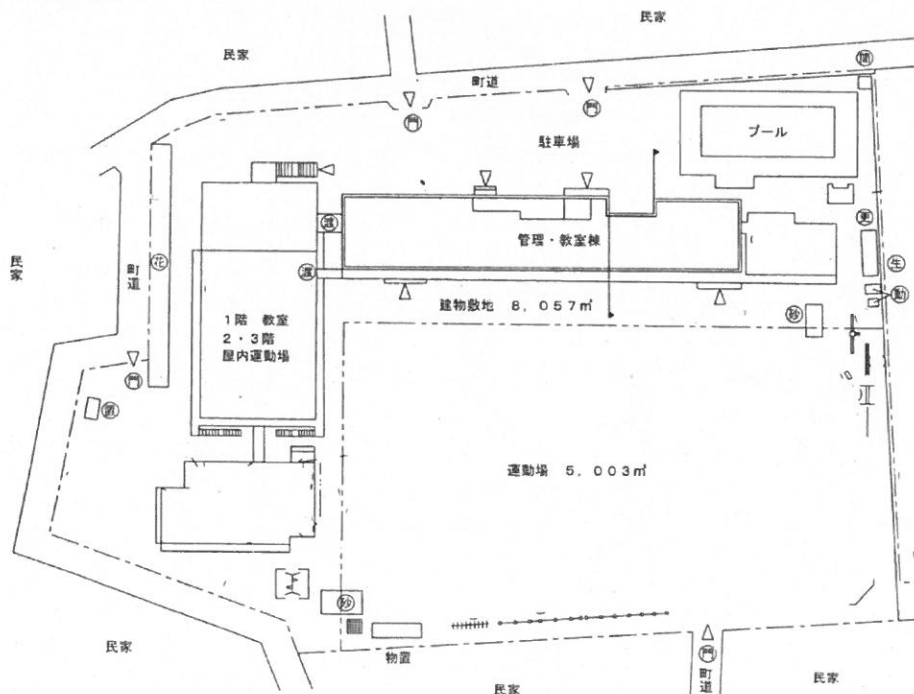
### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
4,656	1,019	5,675

### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
8,057	5,003	13,060

### ■ 学校配置図



## 伊草小学校の現況と配置 (川島町大字伊草 238-1)

■ 沿革	明治 7年 4月	創設
	昭和 41年 7月	校舎新築 (鉄筋化)、プール竣工
	昭和 53年 3月	体育館新築
	昭和 58年 3月	南校舎新築
	平成 17年 12月	校舎改築
	平成 19年 3月	体育館改築
	平成 22年 2月	デジタルテレビ設置
	平成 23年 9月	エアコン設置 (普通教室)
	平成 24年 8月	太陽光発電設備設置
	平成 25年 9月	体育館 非構造部材耐震化
	平成 26年 9月	校舎 非構造部材耐震化

### ■ 保有教室数 (既存校舎)

普通 教室	特別教室									合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	特別活動	相談	
14	1	-	1	1	1	1	1	1	1	22

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

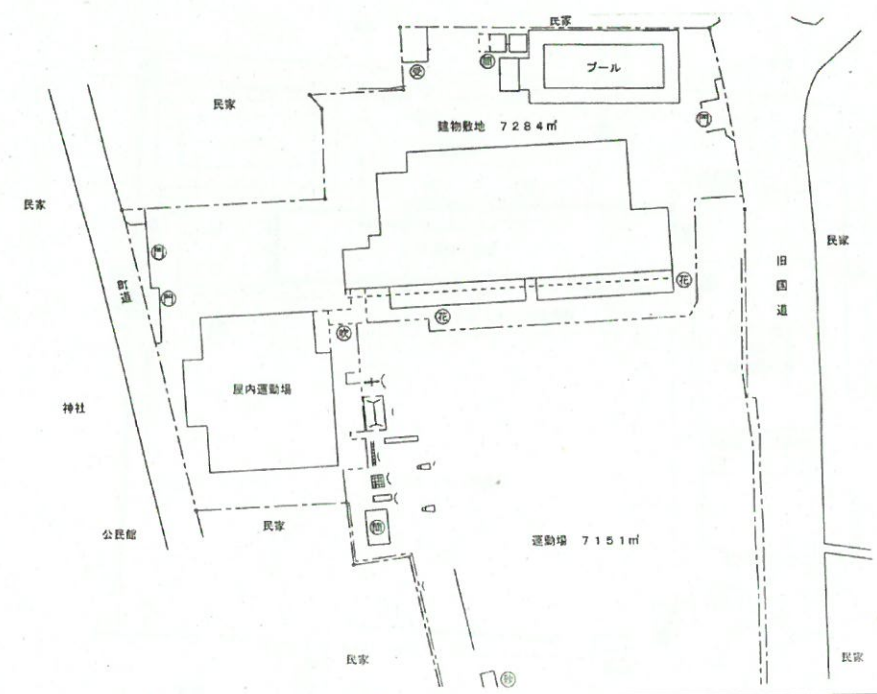
### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
4,218	902	5,120

### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
7,150	7,301	14,451

### ■ 学校配置図





### 三保谷小学校の現況と配置 (川島町大字白井沼 945)

#### ■ 沿革

明治19年	3月	開設
昭和40年	7月	プール竣工
昭和43年	3月	校舎新築(鉄筋化)
昭和55年	4月	体育館新築
平成13年	7月	校舎 耐震補強、大規模改造
平成13年	7月	体育館 耐震補強
平成22年	2月	デジタルテレビ設置
平成23年	9月	エアコン設置(普通教室)
平成24年12月		太陽光発電設備設置
平成25年	9月	体育館 非構造部材耐震化、校庭改修
平成26年	9月	校舎屋根改修
平成27年10月		校舎 非構造部材耐震化

#### ■ 保有教室数(既存校舎)

普通 教室	特別教室								合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	相談	
7	1	-	1	1	1	1	1	-	13

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

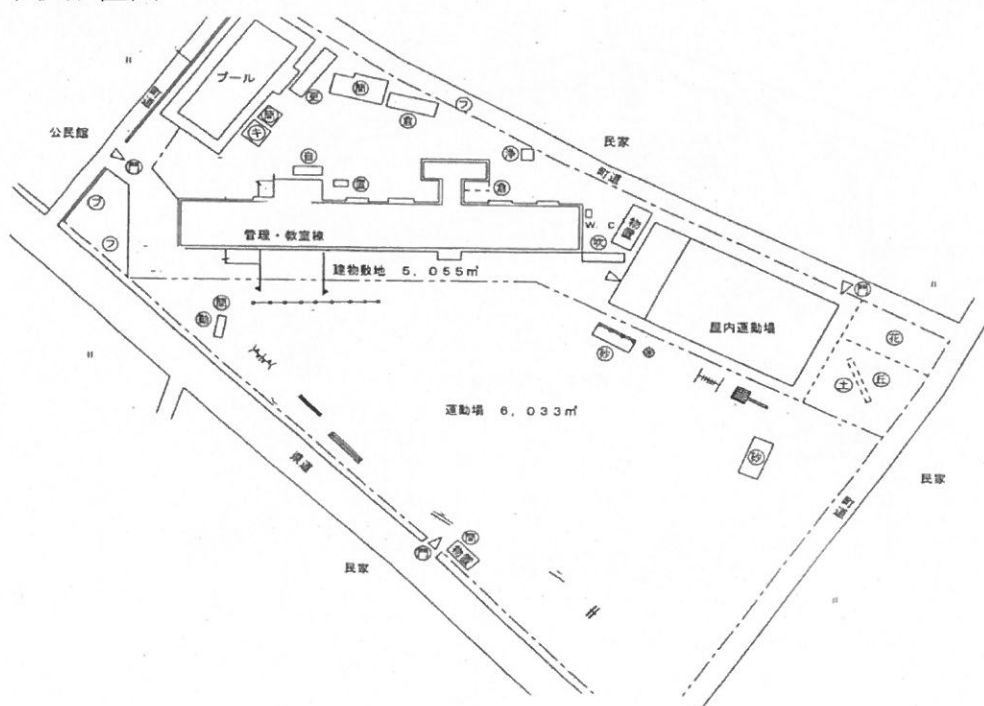
#### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
1,730	733	2,463

#### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
5,055	6,033	11,088

#### ■ 学校配置図



## 出丸小学校の現況と配置 (川島町大字上大屋敷 100)

### ■ 沿革

明治	6年12月	創設
昭和	39年8月	プール竣工
昭和	51年6月	校舎新築(鉄筋化)
昭和	54年3月	体育館新築
平成	8年8月	校舎 耐震補強、大規模改造
平成	19年7月	体育館 耐震補強、大規模改造
平成	22年2月	デジタルテレビ設置
平成	23年4月	特別支援教室新設
平成	23年9月	エアコン設置(普通教室)
平成	24年12月	太陽光発電設備設置
平成	25年9月	体育館 非構造部材耐震化
平成	26年9月	エアコン設置(図書室、音楽室)
平成	27年10月	校舎 非構造部材耐震化

### ■ 保有教室数(既存校舎)

普通 教室	特別教室								合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	相談	
7	1	—	1	1	1	1	1	—	13

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

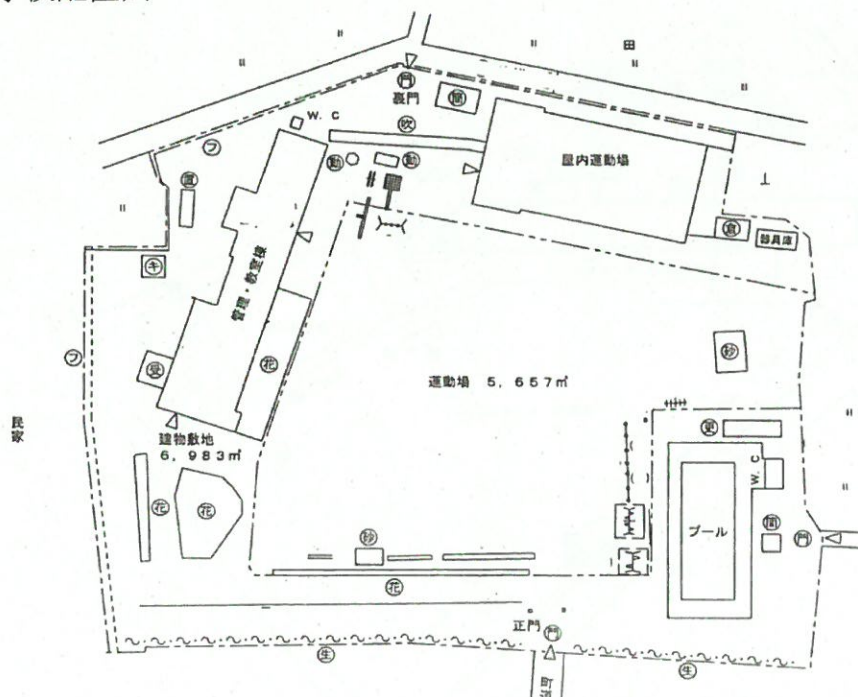
### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
1,950	761	2,711

### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
6,983	5,657	12,640

### ■ 学校配置図





## 八ッ保小学校の現況と配置 (川島町大字畑中 31)

### ■ 沿革

明治 7年 5月	創立
昭和 40年	プール竣工
昭和 45年 5月	校舎新築 (鉄筋化)
昭和 55年 12月	体育館新築
平成 14年 9月	体育館 耐震補強
平成 14年 9月	校舎 耐震補強、大規模改造
平成 22年 2月	デジタルテレビ設置
平成 23年 9月	エアコン設置 (普通教室)
平成 24年 12月	太陽光発電設備設置
平成 25年 9月	体育館 非構造部材耐震化
平成 27年 10月	校舎 非構造部材耐震化

### ■ 保有教室数 (既存校舎)

普通 教室	特別教室								合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	相談	
7	1	—	1	1	1	1	1	—	13

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

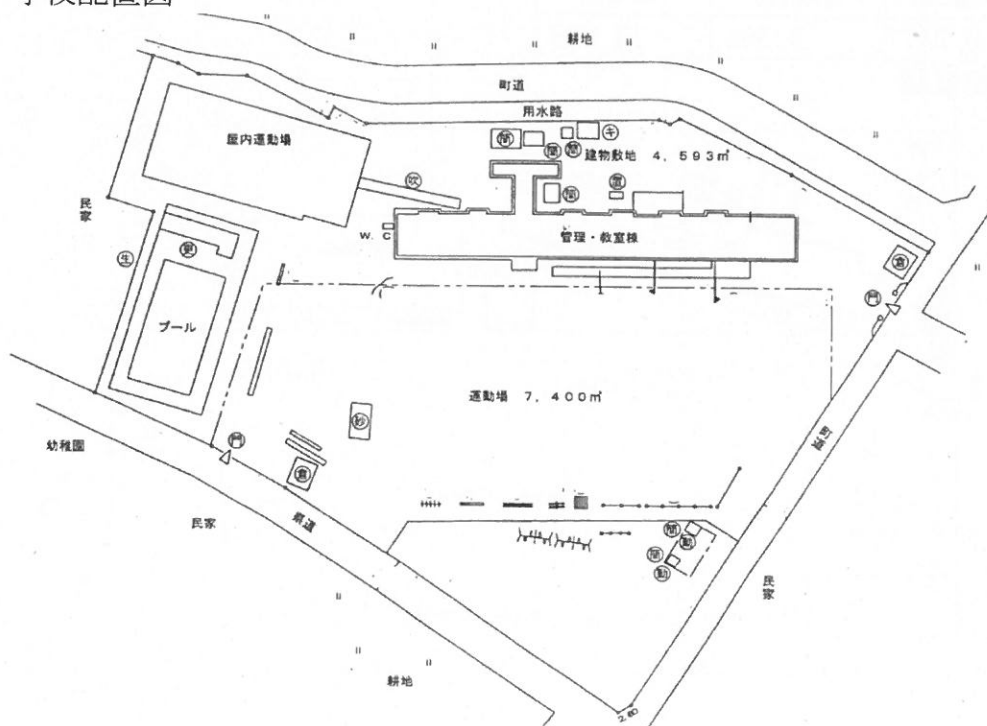
### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
1,706	733	2,439

### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
4,593	7,400	11,993

### ■ 学校配置図



## 小見野小学校の現況と配置 (川島町大字谷中 99)

### ■ 沿革

明治 6年 9月	開設
昭和40年10月	プール竣工
昭和47年10月	校舎新築(鉄筋化)
昭和57年 2月	体育館新築
平成 2年 3月	築山造成
平成20年 8月	校舎 大規模改造(木質化)、 生活科室棟、相談室棟 新築(いずれも木造) 太陽光発電設備設置
平成21年 8月	体育館 大規模改造
平成22年 2月	デジタルテレビ設置
平成23年 9月	エアコン設置(普通教室)
平成24年 4月	特別支援教室新設
平成25年 9月	体育館 非構造部材耐震化
平成27年10月	校舎 非構造部材耐震化

### ■ 保有教室数(既存校舎)

普通 教室	特別教室								合計
	理科	生活科	音楽	図工	家庭科	PC	図書	相談	
7	1	1	1	1	1	1	1	1	15

※ 普通教室数には、特別支援教室が含まれる。

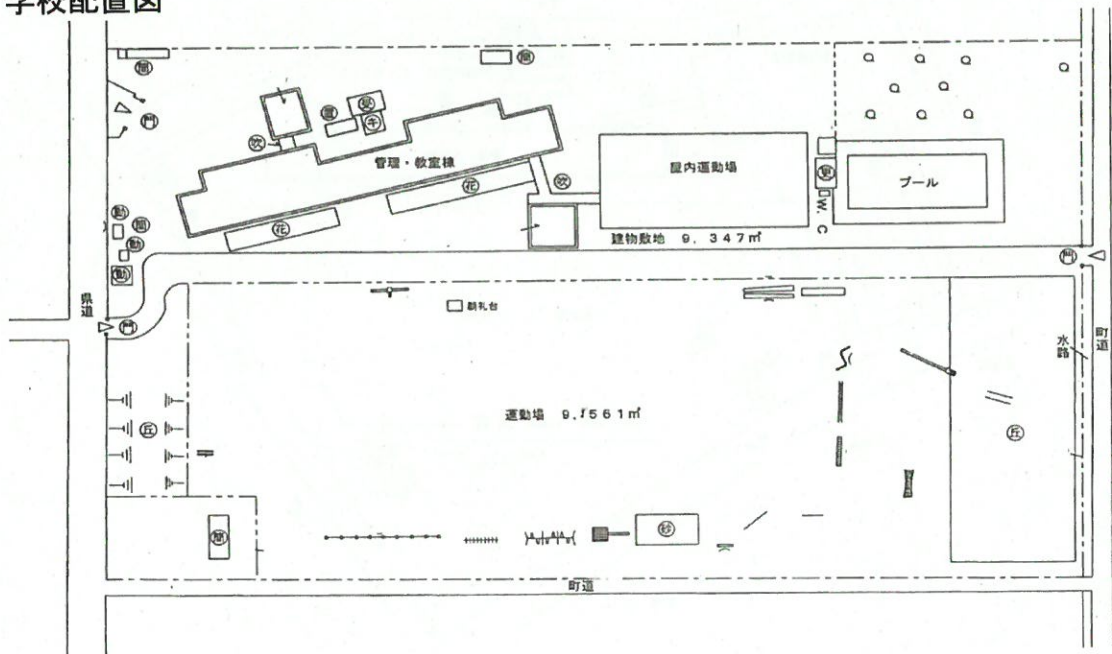
### ■ 建物面積 $m^2$

校舎	体育館	合計
1,863	740	2,603

### ■ 校地面積 $m^2$

建物敷地	運動場	合計
9,347	9,561	18,908

### ■ 学校配置図



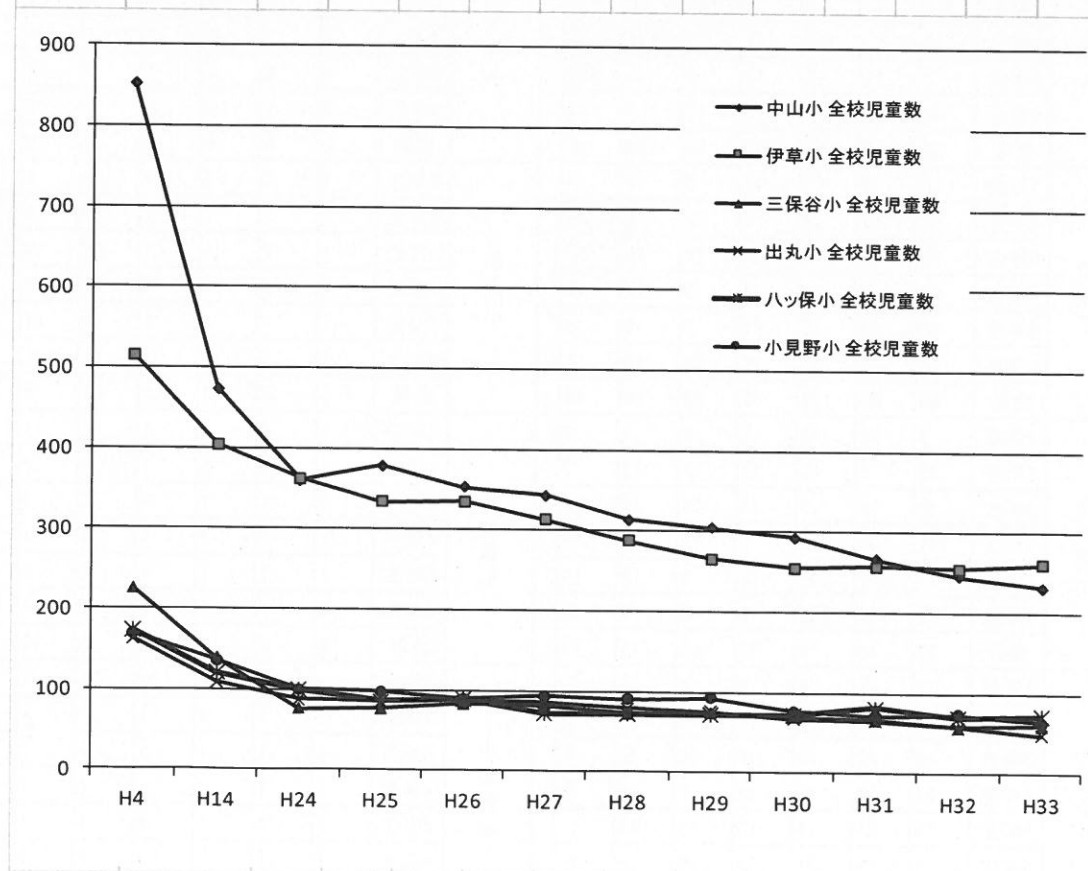
## 第2 児童数・学級数の推移と見込み

平成4年度の全児童数は2,101人でありましたが、それから10年後の平成14年度の全児童数は719人減り1,382人となりました。それからさらに10年後の平成24年度の全児童数は295人減り1,087人となりました。よって20年で児童数が半分に減少したことになります。平成25年度には三保谷・出丸・ハッ保・小見野小学校の4校の児童数が全て100人を切り、平成27年度の全児童数は1,000人を割り込んで989人となりました。児童数の減少は今後も続くと見込まれ、平成33年度の全児童数は740人程度になると見込まれています。

※ 平成4年度から27年度までの児童数は、学校基本調査の数値による。(5月1日現在の数値)

※ 平成28年度以降の児童数は、平成28年1月1日現在の新入学児童数予測による。

		H4	H14	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
中山小	全校児童数	854	474	361	380	353	343	314	305	293	267	246	233
	新入児童数	128	82	54	65	46	52	42	44	44	37	27	39
伊草小	全校児童数	516	404	362	334	335	313	288	266	255	258	256	261
	新入児童数	69	61	45	41	50	48	38	37	40	45	48	53
三保谷小	全校児童数	226	139	76	77	83	81	73	74	70	67	58	60
	新入児童数	41	16	11	15	17	7	14	10	7	12	8	9
出丸小	全校児童数	163	109	87	86	87	86	80	76	68	66	58	49
	新入児童数	20	19	20	10	13	13	8	12	12	8	5	4
ハッ保小	全校児童数	173	120	100	86	90	72	73	72	73	82	71	73
	新入児童数	26	16	9	6	18	5	18	13	11	17	7	7
小見野小	全校児童数	169	136	101	98	90	94	91	93	77	72	74	65
	新入児童数	25	16	21	13	11	19	14	15	5	9	12	10
合計	全校児童数	2,101	1,382	1,087	1,061	1,038	989	919	886	836	812	763	741
	新入児童数	309	210	160	150	155	144	134	131	119	128	107	122





各小学校における学年毎の児童数予測

各小学校における学年毎のクラス数予測

- ※ 太枠の部分は、複式学級となり2学年が1クラスとなる。
- ※ 太線(点線)についても、児童が転出してしまふと複式学級の可能性が出てくる。

- ※ 1学年40人学級(ただし1年生は35人)の場合のクラス数である。ただし、ここでは特別支援学級を除いている。太枠の部分が、複式学級である。

学校名	学年	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	学校名	学年	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
中山小	1年生	52	42	44	44	37	27	39	中山小	1年生	2	2	2	2	2	1	2
	2年生	48	52	42	44	44	37	27		2年生	2	2	2	2	2	1	1
	3年生	63	48	52	42	44	44	37		3年生	2	2	2	2	2	2	1
	4年生	56	63	48	52	42	44	44		4年生	2	2	2	2	2	2	2
	5年生	53	56	63	48	52	42	44		5年生	2	2	2	2	2	2	2
	6年生	71	53	56	63	48	52	42		6年生	2	2	2	2	2	2	2
	合計	343	314	305	293	267	246	233		合計	12	12	12	12	12	10	10
伊草小	1年生	48	38	37	40	45	48	53	伊草小	1年生	2	2	2	2	2	2	2
	2年生	50	48	38	37	40	45	48		2年生	2	2	1	1	1	2	2
	3年生	42	50	48	38	37	40	45		3年生	2	2	2	1	1	1	2
	4年生	51	42	50	48	38	37	40		4年生	2	2	2	2	1	1	1
	5年生	59	51	42	50	48	38	37		5年生	2	2	2	2	2	1	1
	6年生	63	59	51	42	50	48	38		6年生	2	2	2	2	2	2	1
	合計	313	288	266	255	258	256	261		合計	12	12	11	10	9	9	9
三保谷小	1年生	7	14	10	7	12	8	9	三保谷小	1年生	1	1	1	1	1	1	1
	2年生	17	7	14	10	7	12	8		2年生	1	1	1	1	1	1	1
	3年生	15	17	7	14	10	7	12		3年生	1	1	1	1	1	1	1
	4年生	11	15	17	7	14	10	7		4年生	1	1	1	1	1	1	1
	5年生	9	11	15	17	7	14	10		5年生	1	1	1	1	1	1	1
	6年生	22	9	11	15	17	7	14		6年生	1	1	1	1	1	1	1
	合計	81	73	74	70	67	58	60		合計	6	6	6	6	6	6	6
出丸小	1年生	13	8	12	12	8	5	4	出丸小	1年生	1	1	1	1	1	1	1
	2年生	13	13	8	12	12	8	5		2年生	1	1	1	1	1	1	1
	3年生	10	13	13	8	12	12	8		3年生	1	1	1	1	1	1	1
	4年生	20	10	13	13	8	12	12		4年生	1	1	1	1	1	1	1
	5年生	16	20	10	13	13	8	12		5年生	1	1	1	1	1	1	1
	6年生	14	16	20	10	13	13	8		6年生	1	1	1	1	1	1	1
	合計	86	80	76	68	66	58	49		合計	6	6	6	6	6	6	5
八ッ保小	1年生	5	18	13	11	17	7	7	八ッ保小	1年生	1	1	1	1	1	1	1
	2年生	18	5	18	13	11	17	7		2年生	1	1	1	1	1	1	1
	3年生	8	18	5	18	13	11	17		3年生	1	1	1	1	1	1	1
	4年生	10	8	18	5	18	13	11		4年生	1	1	1	1	1	1	1
	5年生	14	10	8	18	5	18	13		5年生	1	1	1	1	1	1	1
	6年生	17	14	10	8	18	5	18		6年生	1	1	1	1	1	1	1
	合計	72	73	72	73	82	71	73		合計	6	6	6	6	6	6	6
小見野小	1年生	19	14	15	5	9	12	10	小見野小	1年生	1	1	1	1	1	1	1
	2年生	10	19	14	15	5	9	12		2年生	1	1	1	1	1	1	1
	3年生	14	10	19	14	15	5	9		3年生	1	1	1	1	1	1	1
	4年生	21	14	10	19	14	15	5		4年生	1	1	1	1	1	1	1
	5年生	13	21	14	10	19	14	15		5年生	1	1	1	1	1	1	1
	6年生	17	13	21	14	10	19	14		6年生	1	1	1	1	1	1	1
	合計	94	91	93	77	72	74	65		合計	6	6	6	6	6	5	5

小規模校化の著しい三保谷小学校、出丸小学校、八ッ保小学校、小見野小学校の4校のクラス数の予測を見ますと、数年後には出丸小学校、八ッ保小学校、小見野小学校の3校において複式学級の編制が予想されています。特に小見野小学校では、平成32年度から2年生と3年生で複式学級になると予想されています。

また、現在は適正規模校である中山小学校と伊草小学校においては、平成29年度に伊草小学校の2年生で、平成32年度に中山小学校の1、2年生で単学級になると予想されています。

(参考) 小規模小学校における複式学級の編制年度 (予測)

- ・ 出丸小学校 平成33年度から (2年生: 5名、3年生: 8名)
- ・ 八ッ保小学校 平成34年度から (2年生: 7名、3年生: 7名)
- ・ 小見野小学校 平成32年度から (2年生: 9名、3年生: 5名)

※ 平成28年1月1日現在の新入学児童数予測による

※ 複式学級とは

小学校の場合、2つの学年の人数が16人以下(1年生を含む場合は8人以下)になると、2つの学年を1つのクラスに編制するようになる。(これを「複式学級」という。)

さらに、三保谷小学校、出丸小学校、八ッ保小学校、小見野小学校の4校の各クラスにおける児童数を見ますと、男女間の数にアンバランスが生じています。

(参考) 小規模小学校における男女数のアンバランスな状況 (平成27年度)

- ・ 三保谷小学校 4年生 11人 (男: 8名、女: 3名)
- ・ 出丸小学校 3年生 10人 (男: 7名、女: 3名)
- 5年生 16人 (男: 10名、女: 6名)
- ・ 八ッ保小学校 1年生 5人 (男: 5名、女: 0名)
- 6年生 17人 (男: 12名、女: 5名)
- ・ 小見野小学校 3年生 14人 (男: 2名、女: 12名)
- 4年生 21人 (男: 16名、女: 5名)

※ 平成27年5月1日現在の数値による